

第86回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年7月13日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第86回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○政府現地対策本部

・県庁11階に緊急災害現地対策本部と復興現地対策本部が設置されている。設置の法律根拠は異なるが、現地対応することは同じであり、7月11日月曜日から体制の見直しを行った。

・具体的には、復興現地対策本部の本部長以下が現地災害対策本部の役職を兼ねることになった。本部長は末松内閣副大臣であり、事務局長は沢田東北地方整備局副局長である。

○災害対策本部事務局

・死者については9,213人、行方不明者については2,803人、全壊66,996棟で半壊が54,905棟となっている。避難者については13,235人となっている。被害額については3兆4,250億円ほどになっている。

○総務部

・被害額は415億円ほどになっている。
・生活再建支援金の申請状況は基礎支援金で51,261件ほどになっている。
・(社)日本女子プロゴルフ協会から普通自動車等8台の提供があった。

○環境生活部

・7月11日から全市町村における空間放射線線量率の定点測定を開始した。

○保健福祉部

・震災孤児支援のための寄付について、3億円ほどになった。
・義援金総額は198億円である。
・災害ボランティアの活動状況については、7月11日時点で1,000人ほど活動

している。

○農林水産部

- ・漁港，漁場の廃棄物処理について，7月11日時点で27県営漁港の全てで終了した。
- ・石巻魚市場が7月12日に再開した。

○土木部

- ・資料のとおり。

○自衛隊

- ・食料支援については，18,699食，入浴支援については，18,607人であった。
- ・海上で1体の遺体を収容した。

○警察本部

- ・遺体は昨日まで9,304体収容した。6日間で7体収容した。
- ・震災の影響により延長していた運転免許の更新期間であるが，8月31日までである。

○海上保安庁

- ・7月6日から7月12日までに遺体を3体収容した。

○教育委員会

- ・避難先となっている学校数は全体で2校減り60校になった。

○若生災害対策副本部長

- ・知事は，復興構想会議のため不在である。
- ・暑くなってきているので，避難所や仮設住宅で生活している方々の健康や衛生面が心配である。
- ・自衛隊，海上保安庁，警察の方々も暑い中での作業となる。十分体に留意して，課題を見つけながら対応をして欲しい。

- ・次回は7月20日10時00分に開催する。